

# 木づきを増やし、木づかいを目指す 作って広めろ！ 木の魅力発信プロジェクト ～2025～

北海道旭川農業高等学校 森林科学科3年 青木 陽 青柳 漣 菊川 冬慳 土谷 紀裕 山本 楓華 吉川 直文  
2年 武市 志優 黄木 楓 大橋 一心 金子 雄一 橋本 くるみ 牧野 蓮夢 三嶋 爽太

## 活動の背景・目的

私たち森林循環班は未利用の木質資源を使って製品化し木材の利用価値を高め、物質的にも経済的にも健全な森林循環を活性化させたいという目標を掲げて活動しています。今年度の活動テーマは「使いたいモノを学び、使えるモノを産む」、「体験活動で木の魅力に気づいてもらう」の2点に定め、活動を行ってきました。

## 実践内容・成果

### 実践1 使いたいモノを学び、使えるモノを産む

私達は、毎年7月に旭川市で開催されている「上川圏域木育フェスタ森林の市」への出品を目指し、例年の人気商品である木製マグネットガチャに加え、前年の体験活動運営で予備材料として残った木材や部品を再利用した手提げ木箱・スパイスボックスなど全5種類の木工作品を作成して販売しました。木工品の評判は好評で作成した製品はほとんどが完売となりました。

また、今年度は大型木材製品の開発を目指し、校内で見つけた廃棄予定の椅子と1×4規格の針葉樹材を使用したポータブルベンチを試作しました。現在は当麻町産の地場産木材を使用したポータブルベンチを作成し、次年度の販売行事での出品を目指しています。



【 手作り木工製品 】



【 ポータブルベンチ 】



【 木製マグネットガチャ 】

### 実践2 体験活動で木の魅力に気づいてもらう

私達、森林循環班では木に触れて加工を体験してもらうことで、木の違いや制作の魅力を知ってもらうために、学校演習林から発生するの小径の間伐材や、地域産業である旭川家具の生産時に発生する端材など地域の未利用木材や手軽に入手できる木材を活用した木工体験の運営・普及に取り組んでいます。

毎年6月に旭川市で開催されている「まちなかキャンパス」では私達の日頃の活動を伝えるとともに、未利用木材を利用したキーホルダー作りを実施しました。2日間で500人以上の方に体験を提供し、子ども達による人気投票では上位団体として入賞することができました。

まちなかキャンパスでの経験を元に、道立旭川美術館の企画展と連携した木工体験や、大人を対象とした木工体験など多様な方々に木工体験を提供することができました。現在は新たなワークショップとして「コマ作り」を計画し準備しています。

【 未利用材を使ったキーホルダー作り 】 ●まちなかキャンパス2025：令和7年6月21【土】～22【日】



・キーホルダーの素材は学校演習林の間伐材を活用。  
・家具端材は家具メーカーのcosine様よりご提供いただきました。

【 100円ショップ素材を用いたDIY 】

●PTA研修会【大人対象】 小物入れ作り  
令和7年11月14【金】

●道立旭川美術館冬のウッディ☆木工体験【小学生対象】 手提げ木箱づくり  
令和7年2月22【土】



ウッドチェンジ  
のロゴマークを  
刻印

## 今後の展開

今年度も新たな木製製品開発や体験活動を実践し、多くの人々に「木づかい」の意義や、木製製品の良さを知ってもらう「木づき」の機会を提供することができました。

そしてこれらの行事と並行し、北海道産木材を使用していることを示すHOKKAIDOWOODのロゴマークの利用を申請するなど、今後の更なる展開を見据えた活動を行っています。

